

Vol.158

令和6年〔2024〕

8月5日 発行

うちなだ 議会だより



ともに創ろう、強く住みよい内灘 5、6 月会議…… 2 - 3

委員会レポート …… 4

液状化・宅地等復旧支援事業 町独自の上乘せ額を手厚く
被災者見守り相談支援 一体、何をするのか

総務産業建設常任委員会
文教福祉常任委員会

ありゃ～どうなったがいね～ 清水議員・北川議員 …… 6

一般質問 10 人が登壇 …… 7

街かどインタビュー 内灘町消防団第一分団班長会 …… 18



6月会議

6月4日～13日

く住みよい内灘

生活を守る

带状疱疹ワクチン任意 接種費用助成 150万円

接種対象者：50歳以上

不活化ワクチン 6,000円 助成回数2回

生ワクチン 3,000円 助成回数1回

※助成はいずれかのワクチン接種に限る

上下水道料金 コンビニ収納サービス導入 566万円

申請書作成支援システム導入 (書かない窓口サービス) 196万円

窓口業務のデジタル化推進

プレミアム付商品券支援 事業補助金 4600万円

地域経済活性化・消費喚起のため、プレミアム率40%の商品券販売事業を支援。

交付対象：内灘町商工会

小学校施設設備改修工事 1265万円

防犯監視装置設置、鶴小空調設備更新等

中学校施設設備改修工事 400万円

防犯監視装置設置、空調設備整備

消雪施設整備工事 1億160万円

千鳥台1丁目地内(千鳥台公園)消雪井戸設置

大清台地内(大清台公園)消雪設備更新

アカシア交差点(おおどりパーク)消雪

井戸堀替

小型除雪機購入費補助金 70万円

町会及び区に対し費用の一部を補助

補助率70%、上限額70万円

旧緑台公民館解体工事費 1100万円

令和6年6月会議は6月4日から13日までの10日間開催され、報告4件のほか、令和6年度補正予算3件、条例の改正5件、請負契約の締結など計13議案を審議し、全て原案の通り可決した。また、議会議案として「令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会の設置について」を可決した。

条例の改正(主なもの)

内灘町災害等対策基金条例の一部を改正する条例について

令和6年能登半島地震を踏まえ、災害復旧に必要な経費の財源を適切に確保するため、基金総額の上限撤廃に係る改正。

石川県後期高齢者医療広域連合規約の変更について

被保険者証が廃止されることに伴い、規約の変更にあたり、関係市町の議会の議決を経なければならないため。

請負契約の締結について

工事名…向栗崎小学校大規模改修工事

(二期)

契約金額…9394万円

契約相手…株式会社 長坂組

工期…令和6年9月30日

請負契約の締結について

工事名…鶴ヶ丘小学校体育館大規模改

修工事

契約金額…8800万円

契約相手…株式会社 表組

工期…令和6年9月30日

令和6年
能登半島地震
復旧・復興を急げ!

ともに創ろう、強 地域の再生

被災者見守り相談支援

業務委託料 1500万円

町内の仮設住宅入居者（みなし仮設含む）の孤立防止等のため、見守り、相談事業を行う

委託先 内灘町社会福祉協議会

被災地域コミュニティ

活動維持支援金 469万円

大規模な被害のあった地区

宮坂・西荒屋・室・湖西

農地農業用施設災害

復旧事業委託料 8億円

内灘町土地改良区が所管する農地や農業用施設の災害復旧事業を県に委託

なりわい再建支援等補助金

2600万円

なりわい再建支援補助金（県）への上乗せ

補助対象経費の1/10

上限額 100万円

小規模事業者持続化補助金（国）への上乗せ

補助対象経費の1/10

上限額 直接被害：30万円

間接被害：15万円

・公立学校施設災害復旧費 4351万円

西荒屋小の基礎被災調査
白帆台小学校被害調査

・総合グラウンド等復旧工事实施設計 2500万円

総合グラウンド、鶴ヶ丘テニスコート等

・公民館の調査設計等委託料 2700万円

鶴ヶ丘東、室公民館復旧工事实施設計
西荒屋公民館基礎、地盤調査

・旧宮坂学童保育クラブ解体工事 660万円

・既存建築物耐震改修工事費等補助金 1億64万円

被災住家改修のための補助額を100万円上乗せし限度額250万円に拡充

・消防車両整備事業 5512万円

消防ポンプ自動車を更新し、災害対応力強化を図る

・防災情報一斉配信等サービス導入事業 1339万円

防災メール等・防災行政無線配信システム

・公民館施設改修工事 1500万円

西荒屋、室内有線放送設備撤去

主な事業

専決処分の承認を含む9議案を審議し、
全て原案のとおり承認・可決した。

被災地自治体に派遣された職員に対し、
期間等に応じて支給される手当。

1014万円

令和6年4月～令和7年3月までの期間、
左記自治体から職員が派遣されている。

仙台市3名、春日井市2名、焼津市1名、
幸田町1名。

被災者支援特別給付金 8000万円

準半壊以上世帯 5万円／世帯

一部損壊世帯 2万円／世帯

復興計画等策定業務委託料 2000万円

第6弾元気内灘地域応援クーポン券事業

1億1735万円
1万円／世帯

農地・農業用施設災害復旧事業に関する基
本協定の締結について

工事場所…向栗崎、大根布、宮坂、西荒

屋地内

協定金額…8億円

協定相手…石川県

工期…令和7年3月31日

5月会議

5月10日

産業総務 建設常任 委員会

液状化・宅地等復旧支援事業 町独自の上限額を手厚く

◎恩道正博 ○西尾雄次 南 守雄
中川 達 磯貝幸博 中村 聡

問 6月の総務委員会での審査の中で議論が集中したのは、能登半島地震からの復旧・復興に関するもので、被災者への支援施策の実質的な内容であった。とりわけ、県の復興基金に関連する事業に町独自で上乗せ助成する施策などに関して議論が行われた。

問 県の復興基金を使った被災宅地復旧支援事業では、支援額は最大766万円になるが、本町は液状化で大きな被害を被ったので人口流出を止めるためにも他市町より手厚い支援をすべきだ。

答 県の復興基金事業に町が独自に上乗せをすることについては、県は原則としてできないと説明している。しかし、町として何か別の制度で支援できないか検討したい。

問 既存建築物耐震改修工事費等補助金について、改修だけでなく新築も対象にならないか。また、町外へ避難している方が、町内に戻り定住してもらえないような制度を検討できないか。

答 県の復興基金を活用した制度が出来るか、県に要望したい。



改修が急がれる公衆トイレ(内灘海水浴場)

問 仮設住宅を有する町会等に被災者とのコミュニティ活動に対する助成ができないか。

答 コミュニティの良好な形成は重要だと考えているので今後検討したい。

問 旧緑台公民館の解体工事後、その跡地をどのようにするの。

答 解体後、跡地は売却する予定だ。

問 海外からの観光客も増えているが内灘海岸のトイレは洋式化になっているのか。

答 多目的トイレのみ洋式トイレで後は和式だ。今後、洋式化を検討したい。

福祉文教 常任委員 会

被災者見守り相談支援 一体、何をするのか

◎清水文雄 ○土屋克之 夷藤 満
北川悦子 生田勇人 川口正己

6月の委員会では、鶴ヶ丘小学校体育館大規模改修工事など4議案を審査し全て可決した。

問 赤字を出している重度障害者施設に行政指導が必要ではないか。

答 県認可のため、県と連携して対応していく。

問 社会福祉協議会への被災者見守り相談支援業務委託料の1500万円の内訳はどうなっているのか。

答 人件費4人分、軽自動車リース費2台分、携帯電話購入費2台分など。

問 この事業は、一体何をするのか。

答 孤立を防止し、日常生活上の相談を行うとともに、被災者を関係支援機関へつなぐ等の支援を行うため、建設型仮設住宅、みなし仮設住宅等を一戸ずつ個別に訪問する。

問 現在、仮設住宅などに入戸している人は何人いるのか。

答 5月末現在、建設型仮設住宅61戸(133人)、みなし仮設住宅284戸(737人)、県営住宅18戸(47人)。能登からの移住者もいる。



向栗崎の仮設住宅

問 就学援助費の給食費援助割合を8割から全額に引き上げるとのことだが、全体に対して、何割程度か。

答 小学校12・4%、中学校15・6%の見込み。

※7月会議にて、2学期から中学生の給食費無償化が決定。

問 部活動の地域移行が進んだ場合、大会派遣費などはどうなるのか。

答 予算の付け替えなどで対応する。

5月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	中村 聡	土屋 克之	西尾 雄次	磯貝 幸博	七田 満男	川口 正己	生田 勇人	恩道 正博	北川 悦子	東藤 満	清水 文雄	中川 達	南 守雄
議案第34号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度内灘町一般会計補正予算(第10号)〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第35号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度内灘町新エネルギー事業特別会計補正予算(第2号)〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第36号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算(第4号)〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第37号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第38号	専決処分の承認を求めることについて 〔令和5年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第4号)〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第39号	専決処分の承認を求めることについて 〔内灘町税条例の一部を改正する条例について〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第40号	専決処分の承認を求めることについて 〔内灘町国民健康保険税条例の一部を改正する条例について〕		承認	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第41号	令和6年度内灘町一般会計補正予算(第1号)		可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○

6月会議審議議案と採決状況

議案第43号	令和6年度内灘町一般会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第44号	令和6年度内灘町水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第45号	令和6年度内灘町下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第46号	内灘町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報提供に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第47号	内灘町監査委員条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第48号	内灘町災害等対策基金条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第49号	内灘町本社機能立地促進のための固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第50号	内灘町水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第51号	石川県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	×	○	○	○
議案第52号	請負契約の締結について 〔向栗崎小学校大規模改修工事(Ⅱ期)〕	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第53号	請負契約の締結について 〔鶴ヶ丘小学校体育館大規模改修工事〕	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第54号	農地・農業用施設災害復旧事業に関する基本協定の締結について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第55号	内灘町道路路線の変更について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第3号	令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会の設置について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、—は採決に加わらない



全国町村議会議長会表彰
七田 満男 議長
町議会議長としての顕著なる功勞
をたたえ、表彰状が贈られました。

議員表彰
地方自治の振興と発展に寄与

副委員長
中村 聡氏

議長を除く全議員12名を委員とし、以下2名を選任しました。
委員長
中川 達氏

災害からの復興対策についての調査・研究・提言等を行うため、特別委員会を設置し、以下について調査していくことになりました。
・災害復興計画について
・復旧・復興の推進に係る各種事業について

議会議案第3号
内灘町議会 令和6年能登半島地震災害復興対策特別委員会の設置について

令和5年中に内灘町議会を傍聴された方は147人でした。

	1月会議	3月会議	5月会議	6月会議	9月会議	11月会議	12月会議	合計
令和5年	開催なし	18人	3人	30人	74人	開催なし	22人	147人
令和4年	2人	26人	3人	14人	13人	2人	23人	83人

追跡

ありゃ～
どうなったがいね～

民間の老朽化したブロック塀 除去、改修の補助制度を設けよ

老朽化し危険なブロック塀を民間で除去、改修する際に、補助制度を設ける考えはないか。

令和元年9月

清水 文雄

答 弁

補助要綱策定中

ブロック塀倒壊の事故を未然に防ぎ、歩行空間をより安心・安全にするため、要綱策定を進めている。令和元年9月会議で制度概要を示す。

その後

令和2年度 補助制度創設

令和2年4月1日 危険ブロック塀の除去に関する補助金交付要綱施行

・補助金額

除却面積に4,000円を乗じた額、もしくは実際の除却工事費のいずれか低い方の額（限度額：100,000円）。



大根布地区内のブロック塀

芦田 高子氏の歌碑を 着弾地観測所跡に建立せよ

着弾地観測所跡に歌碑があれば、当時の様子が目に浮かびやすく、内灘町を知るきっかけになるのではないか。

平成28年12月

北川 悦子

答 弁

町有地での建立を検討

管理上の点から、総合公園内等の町有地内での建立を検討していく。

その後

令和4年12月 歌碑建立

ご子息から、改めて着弾地観測所跡での建立申し出があり、協議、調整を進め、令和4年12月にご子息をはじめとする有志によって、歌碑が建立された。



権現森にある歌碑

一般質問

(6月6日、7日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。

町政も問う 10人が登壇

にし お ゆうじ 西尾 雄次	8
・復興住宅の整備計画を速やかに示せ ・地震火災に備え防火水槽の充実を図れ	
きたがわ えつこ 北川 悦子	9
・被災者の現状と支援を問う ・西荒屋小学校、北部保育所の子ども達の現状は	
かわぐち まさみ 川口 正己	10
・地震対策として医科大通りの無電柱化を図れ ・内灘版ライドシェアについて その他1問	
なかむら さとし 中村 聡	11
・内灘町消防団第二分団格納庫の移転について ・食料の備蓄及び水の確保について その他1問	
なかがわ すずむ 中川 達	12
・復興の方向性・整備計画を早急に示せ ・西荒屋地区計画作りの見直しを進めよ	
みなみ もりお 南 守雄	13
・白帆台北側に復興住宅を建設せよ ・西荒屋小学校、北部保育所再開の目途は	
しみず ふみお 清水 文雄	14
・公平な義援金配分をより強く要望せよ ・町の学校教育づくりについて その他2問	
いくた はやと 生田 勇人	15
・復興住宅建設のための民地取得について ・各種インフラの復旧・仮復旧について その他2問	
おんどう まさひろ 恩道 正博	16
・液状化被害の宅地支援制度創設を ・今後の防災体制を問う その他2問	
いそがい ゆきひろ 磯貝 幸博	17
・震災による町の財政への影響について ・内灘海岸を生かす取り組みについて	



質問と答弁の詳細は町ホームページ→内灘町議会→会議録でご覧ください。



会議録



YouTube

題字
上野雅子さん(西荒屋)



ソアラ
1歳10ヵ月 ♂
シェットランド・シープドッグ
大学



にし お ゆう じ
西尾 雄次

復興住宅の整備計画を示せ

町長 室地区での設置を県と協議中

一般質問

問 能登半島地震で住家を失った被災者が、入居期間2年と言う先行きの不安に苦しむことなく、安心して暮らせる**※復興住宅**を提供することは、町が当面する大きな責務であり、喫緊の課題だ。町として復興住宅の整備計画を速やかに策定し、その具体的なプランを被災者に漏れなく伝えて、現在の暮らしに安心感を与える必要がある。

答 賃貸型を含む応急仮設住宅の入居期間の2年間の延長については、松村防災担当大臣に直接要望し、「入居期間の延長は可能である」との回答をいただいている。なお、復興住宅の整備は、室地区の町有地で県が設置した後に譲渡を受け、町営住宅として住み続けることができる木造の応急仮設住宅の建設を県に要望している。



内灘町でも検討中の復興住宅（穴水町）



液状化で隆起した防火水槽（大根布）

地震火災と防火水槽

問 輪島市の朝市通りで、地震に伴う大火があり、多くの家屋を焼失した。地震断水で消火栓が使用不能であり、大津波警報で人々が避難したことも原因だった。断水時にも機能する防火水槽の充実は、地震大国の我が国では大切なことだと思う。大規模断水時でも消火機能のある防火水槽の整備充実に町として、一層努めるべきでないか。

答 町内には80基の防火水槽があり、地震後も使用可能な状態であったが、一部で地盤隆起や配管損傷が見られた。今回の地震を踏まえ、耐震と耐液状化を具えた防火水槽の新設や既存施設の耐震補強の検討も必要だと考えている。まずは液状化被害の大根布1丁目の防火水槽の復旧と老朽化した防火水槽の対策を講じたい。

※復興住宅と仮設住宅の違い

復興住宅…大規模災害により住宅を失い、自力での住宅再建が難しい被災者のために自治体が設置する公営住宅。正式名称は、災害公営住宅で、復興公営住宅ともいう。
仮設住宅…大規模災害により住宅を失った被災者に対して、提供される一時的な住宅のことをいう。



きたがわ えつこ
北川 悦子

2回目の住民説明会は 夏頃実施したい 町長

一般質問



トレーラーハウス（鶴ヶ丘）

問 自宅を離れ、みなし仮設など、避難している件数を問う。

答 5月末現在、建設型応急住宅61戸、賃貸型応急住宅284戸、一時使用の県営住宅18戸。その他個別事情の現住居は、把握していない。

問 仮設入居者は、被災し心も体も疲れている。見守り体制が必要だ。

答 ※被災者見守り相談支援事業は、県の委託を受け、町社会福祉協議会の生活支援相談員が6月

まで実施。7月以降は町事業として継続し、安心して暮らせる支援体制を整える。

問 2回目の住民説明会はいつ頃開催するのか。

答 県、町の新支援制度説明会を夏頃実施したい。

西荒屋小・北部保育所

問 西荒屋小・北部保育所の子供たちの様子は。

答 西荒屋小学校は新年度から、鶴ヶ丘小学校の3階を使用し、落ち着いた環境で取り組むことができている。

北部保育所は4月より、向粟崎保育所の児童と合同の年齢別保育を実施し、各年齢別に応じた経験をする中で、生き生きとした姿が見られている。



元気な子どもたち（向粟崎保育所）

問 再開時期を問う。

答 西荒屋小学校は、地盤や基礎構造の詳細な調査を行い、復旧工事を進めていく。再開時期は、通学路の状況もあり、現時点で判断することは難しい。

北部保育所は、保育をするには建て替えが必要。西荒屋小学校の一部共同利用、敷地内及び周辺での建設を検討している。

※被災者見守り相談支援事業

孤立防止等のための見守り支援や、日常生活上の相談を行うとともに、被災者を関係支援機関へつなぐ等の支援を行う。



かわぐち まさみ
川口 正己

医科大通りを無電柱化せよ

町長 以前より情報収集をしている

問 以前より懸念されている森本・富樫断層による地震では町は震度6強が予想されている。そのため、電柱が倒れ、消防車や救急車などの緊急車両が走れなくなるおそれがあり、また避難も困難になる。

医科大通りや県道松任宇ノ気線の内灘部分を無電柱化してはどうか。

答 無電柱化を行うことは、防災、安全・快適、景観の向上と災害に強い町がつけられるため、医科大通りでは以前より無電柱化事業に関する情報収集を行っている。

また、北部3地区の防災面の強化をしていく中で、県道の歩道拡幅と併せ、無電柱化についても県と協議を行いたい。



医科大通り

問 北陸新幹線金沢開通により、金沢市は全国的な観光都市となった。また、観光だけではなく、全国会議や国際会議なども多く開催されているために、町に待機しているタクシーが少なくなっており、夜には町に1台もない状態が続いている。内灘版ライドシェアをしてはどうか。

答 今回実施が決まった内灘町を含む金沢交通圏でのライドシェアは、週末のタクシー不足を補完するものとして、国から許可を受けたタクシー会社自身によって順次運行される予定。

内灘版ライドシェアは、金沢交通圏での状況を見定めながら、今後対応を検討していく。

ライドシェアをせよ



唯一残っている向栗崎のしょうず

問 各区・町会の協力を得て、※しよづを復活させてみてはどうか。

答 しよづの復活については、今後、液状化対策を検討する中で、併せて考えていく。

その他の質問

※しよづ

砂丘から自然に湧き出た清水を利用し、以前は洗濯したり、スイカなどを冷やしたりしていた場所。



なかむら
中村

さとし
聡

消防分団の移転を

地域防災力の強化にむけ検討する 町長

一般質問



大根布防災センターの備蓄倉庫

問 町作成のハザードマップによると、内灘町消防第二分団格納庫は、浸水地域に指定された場所に立地している。浸水や津波襲来、液状化のリスクを考え、同じ区内の防災センター隣接地へ移転してはどうか。

答 第二分団の格納庫は浸水地想定区域内にあり、浸水・津波・液状化のリスクがある。提案の旧大根布保育所跡地は、災害による影響が比較的少ない訓練スペースが確保でき、防災センターに隣接するなど合理的な場所と言える。この場所を建設候補地として長期計画に反映させ、地域防災力の充実・強化に向け検討していく。

問 災害発生時は、町が備蓄食糧や水の確保等、物資の管理を行い、地域コミュニティの強化を図るべき。

答 防災初期用に約1万2千食の食糧・飲料水を備蓄している。今般の地震では、町内各所でライフラインが途絶えた。備蓄の方法、管理について、改めて検証が必要だと考えている。国が策定予定の井戸活用促進に向けた具体的な方針を見据え、食糧・飲料水の確保について、町地域防災計画に反映させていきたい。

手押しポンプを設置せよ



災害対策用指定井戸（神奈川県逗子市）

その他の質問

問 夏季に発災した場合、エアコンの整備されていない場所での避難生活は困難。早急に整備すべき。

答 すべての公民館が町指定避難所であるが、エアコン整備費用は地区で負担している。地区での検討をお願いしたい。

早急に復興プランを示せ

町長 スピード感をもって進める



なかがわ
中川

すすむ
達

一般質問

問 復興プラン策定を進めていると思うが、町の方向性・整備計画を早急に示す努力をせよ。

県営住宅跡地に公営復興マンションを建設してはどうか。また、以前町が示した立地適正化計画プランで、その地で図書館を軸とした整備を描いているが、復興のシンボルとして、西荒屋地区へ図書館を移転するプランを検討してはどうか。



開発が待たれる白帆台以北

答 住民合意の取れた地域から順次、計画等を整備したい。

県営住宅跡地は町が県有地購入を前提に協議を行っているっており、具体的な活用方針は確定していない。立地適正化計画は策定に向け課題等を整理中であり、西荒屋地区での図書館設置は、財源も含め検討する。



賑わいを創出できるか（放水路）

西荒屋地区計画作りの見直しを

問 白帆台以北にふるさと帰還モデルとなる、内灘版木造災害復興住宅の建設を早急に進め、西荒屋地区の地区計画作りの見直しを進めるべき。

答 地理的条件を考慮すると住宅地として適していると考えられる。被災された方の再建意向や必要戸数ニーズを把握し、復興にふさわしい住宅再建用地にできるよう国・県と検討を進める。

問 以前、町長答弁にあった放水路より内灘海岸までを回遊できる道路新設は、現在どうなったか。

答 回遊道路新設プランは委員会でも議論し素案を取りまとめていたが、震災を受け中断している。今後の状況を見据え策定作業を再開し、海岸道路・射撃指揮所跡、防潮水門付近の土地の活用を含め検討する。



ウチナダー3



みなみ
南 もり
お
守雄

白帆台北側に復興住宅の建設を 県と協議し判断する 町長

一般質問



石川モデルを復興住宅に

問 能登半島地震で多大な被害を受け、仮設住宅やみなし住宅に転居された方々は、「2年間の入居期限」に不安を抱えている。

西荒屋の住民アンケートでは、7割の方が住み慣れた環境で、生活を再建したいと望む結果が出ている。

近くて安全な土地として、白帆台北側に復興住宅の建設をしてはどうか。

答 公営住宅の整備については、住宅再建等の意向調査を行い、希望戸数を把握した上で検討する。公営住宅の入居条件などを希望者に周知徹底し、整備のために上下水道など土地利用の状況を確認し、県など関係機関との協議を行い判断する。

白帆台北側での用地確保を含め、公営住宅整備の検討をスピード感を持って進める。

問 西荒屋小学校は敷地やグラウンド、プールなどに被害を受け、今も復旧は進んでいない。また、北部保育所は取り壊しが決定し、園児は遠い向粟崎保育所へ通園している。北部保育所の再建は、西荒屋小学校の校舎を利用し、併設するとの案もあるが、町としては、小学校の復旧や保育所の再建をいつごろまでに進めていく考えか。

西荒屋小・北部保育所

答 西荒屋小学校は、本6月会議に計上した補正予算において詳細調査を行い、その結果に基づき復旧工事を進める。

再開時期は液状化調査や基礎被災調査を控え、現時点で判断することは難しい状況だが、一日も早い再開に向け努力する。北部保育所は西荒屋小学校の一部を共同利用するか、敷地内及び周辺での建設を検討する。



西荒屋小学校の被災状況



モーさん



しみず ふみお
清水 文雄

義援金配分はあまりにも不公平だ

町長 県に強く要望している

一般質問

問 町長が先頭になり、6市町以外の他の市町首長と連携して、県へ要望する決意を聞く。

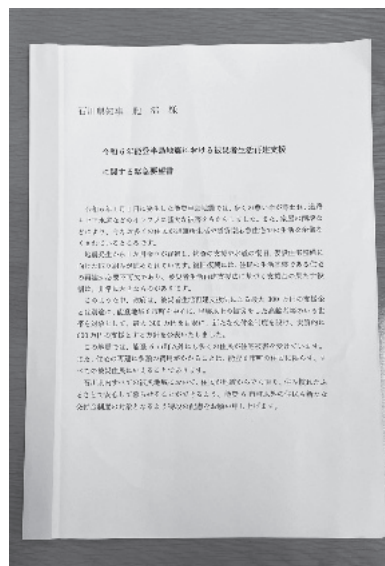
答 同じ被災者でありながら不公平感が否めず、公平な配分となるよう、県知事に対し強く要望している。

問 県は6市町の全住民へ1人5万円の義援金を配分した。6市町と比べ、あまりにも不公平だ。

答 別件で中能登町以南の首長連名の緊急要望書を提出した。今後も強く要望していく。

答 検討委員会は、各被災地区の代表者が参加。その声を反映していく。

問 復旧・復興計画は、各地区でタウンミーティングを開催し、情報公開を徹底せよ。



首長連署の緊急要望書（石川県知事宛て）



旧浜茶屋も撤去された（内灘海岸・海水浴場）

町教育づくり 魅力向上を

問 内灘町の学校教職員の働き方改革の現状と対策を聞く。

答 中学校部活動の休養日や活動時間の見直し、ICTを活用した業務の効率化やスクール・サポート・スタッフの配置等、教職員の負担軽減に努めている。令和5年度の1か月の平均超過勤務は、調査開始の平成29年度と比べ、小学校は約32%、中学校は約38%減少した。

問 町立学校で35人1学級はいくつかあるか。

答 清湖小2、3、4年生の各1クラス、白帆台小5年生の2クラス。

問 30人以下の少人数学級の推進が必要だ。町採用講師を増やす考えは。

答 特に教職員の負担が大きいくラスには、特別支援教育支援員を増員し負担軽減を図っている。

その他の質問

問 建造物にはアスベスト使用の可能性が高い。公費解体の対策は万全か。

答 解体家屋等を対象に、アスベストの有無について、有資格者による事前調査を実施する。

問 旧浜茶屋施設が県の代執行によって撤去された。夏の内灘海岸・海水浴場は開設するのか。

答 職員は、震災の復旧・復興業務を最優先しており、町営での内灘海水浴場は開設しない。



いくた はやと
生田 勇人

用地取得し早期実現を

確保も含め整備の検討を進める 都市整備部長



復興住宅のための地質調査（室地区）

問 白帆台以北の造成や復興住宅の早期実現を目指すなら用地確保は必須だ。多数の地権者との土地画整理事業は時間がかかり過ぎ、まちづくりを形成できる土地面積を買い上げ集積することで早期実現が可能と考える。室地区も町有地だけでは復興住宅戸数がこれ以上増やせない。国、県に用地取得のための支援を求めている必要がある。

答 公営住宅希望者を把握するための意向調査回収率向上のため、また公営住宅建設用地の情報提供にも今後組織される地区復興協議会の協力をお願いしたい。

民有地が必要となった場合、室地区ほ場整備区域や白帆台地区北側での用地確保も含め、被災された方々が安心して暮らせる公営住宅の整備について検討を進めていく。



急がれるインフラ復旧（下水道工事）

インフラ復旧

問 宮坂から西荒屋小学校周辺の県道沿い区域では、未だ下水道が使用できない。戸別・区域説明対応の状況と、仮復旧の目標時期を聞く。

問 多くの町道区間が安全安心、防災に関して大変危険な状況であるにもかかわらず、なぜ、復旧工事の無い空白期間だけが過ぎていくのか。

答 使用希望者には復旧方法や計画を個別に説明しているところであり、資材の調達や作業員の確保も進めている。7月中旬を目途として下水道の接続に努める。

答 擁壁など障害物がある場合、所有者の同意を得てから除去作業を行う必要があるため時間を要している。降雪期までに応急復旧を終えるよう進めていく。

その他の質問

問 町が設立をお願いした各地区復興協議会にどう関わっていくのか。

答 事業手法案を提示し情報共有と意見交換を行い、連携していく。

問 町復興計画に、北部開発促進協議会からの提言要望内容を踏襲せよ。

答 提言要望のあった事業が関係し、復旧復興には必要と考えている。



おんどう まさひろ
恩道 正博

液状化被害の宅地支援制度創設を 町独自の宅地復旧支援を検討

問 地震の液状化で、宅地の傾きや地盤の陥没・隆起が発生し、北部地区をはじめ被害は甚大だ。今後の家屋、宅地の安全性確保に向け地盤改良や傾斜修復等の液状化工事等に対する、新たな国の支援制度の創設が必要だ。国や県に、どのように要望をしたのか。

答 熊本地震と同様の被災宅地を支援する復興基金の創設と上限額の増額を、現地視察に訪れた知事、国会議員や多くの方々に要望した。



液状化で隆起した防火水槽（大根布）



待たれる住民説明会

今後の防災体制は

問 能登半島地震で、町の北部地区をはじめ、各地区で液状化による地盤の陥没や隆起により、家屋や道路、上下水道のインフラ設備に甚大な被害を受けた。

答 今回の、地震対応の検証はしていない。住民説明会では情報が行き届かないとの意見が多く、防災連絡体制の見直しが必要と考える。

問 復興に向けたまちづくりには、利活用は重要各地区と連携し、検討を進める。

問 河北潟堤防は、矢板を敷設するなど強靱化が必要だ。県への要望について聞く。

答 町は以前から、矢板護岸も含め堤防の改修整備を要望している。

その他の質問



いそがい 磯貝 ゆきひろ 幸博

町の将来財政に不安はないか

国、県に要望し財政負担の軽減を図る 町長

一般質問



町の財政は大丈夫か？

問 高齢化・人口減少が加速するなか、町の将来負担が増え、行政サービスの低下を危惧しているが大丈夫か。

これから長期間続く大規模な震災復興予算に対し、財政安定させるためには、行政のスリム化や、行財政改革を可能なところから進めていく、大胆な覚悟が必要である。

答 6月の補正含め、令和6年度的一般会計の予算総額が約171億と最大規模だ。災害復旧事業では多額の財政支出が見込まれるものの、国庫補助率のかさ上げや交付税算入率の高い地方債の活用により、財政負担の軽減を図った。

引き続き国、県に対し継続的な財政支援を強く要望していく。

問 内灘海岸は町の象徴であり重要な拠点だ。生かさずして内灘町の発展はない。

世界の風の祭典が中止、海水浴場の設置も断念されたが、閑散としたままではいけない。ビーチスポーツ、モータースポーツなどの大会誘致に向けて、積極的に取り組めるか。

ビーチスポーツ大会誘致

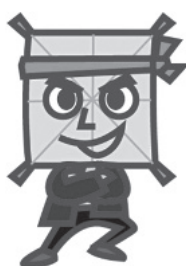


活用が待たれる内灘海岸

答 内灘海岸は、ビーチスポーツ大会の開催には最適な環境である。

各種スポーツ大会の誘致によって、出場する選手や関係者、観戦者など非常に多くの集客が見込まれるため、町の魅力を周知する絶好の機会と考えられる。

駐車場の確保や安全対策など諸課題を含め、今後検討していく。



快斗さん



突撃!

街かどインタビュー

町を守る!

町の団体シリーズ②③



最前列左から3人目 北川真一さん

今回は、「内灘町消防団第一分団班長会」におじゃまして、団長の北川真一さんにインタビューしました。

◆現在の分団員数と活動範囲をお聞きます。

○現在の分団員数は24歳から52歳の24名です。活動範囲は、向栗崎小、清湖小校下が範囲です。団員確保は、他の分団と同じく苦労しています。

団員の家庭に負担となる場面があるため、家族との和を図る目的として、家族参加のバーベキューなどを実施しています。

◆元旦の地震を体験して、気持ちやこれからの活動に変化がありましたか。

○誰しもが思いもしていなかった地震でした。もっと何かできたのではないかと考えることもありま。何をどうするかを周知することの大切さと、防災ではなく、日頃から減災を意識しなくてはと思います。



◆ポンプ車格納庫の移設建て替えが行われますが、新格納庫にぜひ欲しい装備などありますか。



○以前から思っていたことですが、第一分団に限らず、各分団に一台配車されているポンプ車の乗車人数は決まっています。出勤時、現場へ急行する際、自家用車で集散している活動が制限されるので考えてほしいです。

◆町や議会に望むことはありますか。

○今現在、第一分団は24名で活動していますが、ほとんどの人がサラリーマンで平日は町にいません。火事などは曜日を選べずとなく起こります。その時に対応するのが、各分団に1名いる機能別消防団員です。その人数割りと当てる増員と、正団員との補償の格差を少なくしてほしいです。機能別消防団員はOBの方々であり、何かあれば即戦力で動いてくれます。ぜひお願いします。

◆ありがとうございました。

インタビュー 中村 聡

編集後記

私の家には、1月2日から能登で被災した両親が暮らしています。父は震災から半年が過ぎた今でも、眠れなくて変な幻覚にうなされる夜もあります。

災害の後に眠れなかったり、イライラしたり、不安になったりするのは、正常なストレス反応で、多くの人が体験すると聞きました。では、どうすればストレスが和らげるのか。私が両親に提案したことは、①映画・男はつらいよを見る②野球やバレーボールの試合を見る③マッサージを受ける④好物を食べる⑤犬や猫にふれるなどです。特に父は犬に、母は猫にふれると満面の笑顔になります。

話は変わりますが、前回号の私が担当した「街かどインタビュー」を見た方から、「東町会ねこボランティア」さんに寄付の申し出が2件ありました。

内灘町はいい町です。

（副委員長 土屋 克之）

広報対策特別委員会
委員長 中村 聡
副委員長 土屋 克之
委員 北川 悦子
委員 川口 正己
委員 西尾 雄次